

一般質問発言通告書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者 (市長) 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 (○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 消防団について

(1) 消防操法大会について

- ① 9月25日に行われた操法大会において浜田消防隊の4分団が欠場し2分団が合同で出場となった。団員の高齢化と団員の成り手不足が進んできており、やむを得ない決断だったと思われるが、今後も参加する分団が減少する可能性が高く、操法大会の意義が低下することを危惧している。市として今回の大会をどのように受け止め対応していくのかを伺う。
- ② 全国的に過度な訓練が本人や家族の負担になっているなどの意見があることから、負担軽減を目的とし、今年11月13日に県内で初めて大田市が規定を見直して操法大会が行われた。県内市町で様々な考えがあると思うが、市として操法大会の規定や審査基準についての考え方を伺う。

(2) 体制と運営について

- ① 今後も団員の高齢化と減少が進むと予想され、現状の31分団を維持していくことは困難であると考えますが、市として今後の分団数の維持についての考えを伺う。
- ② 今年度より団員の年報酬が増額となった。団員の処遇改善を図られたことは評価する。一方で全国的には団員の報酬を巡るトラブルの報道が後を絶たない。2021年4月に団員の報酬をすべての団員に直接支払うことを強く求める通知が出された。直接支払いを徹底することにはなったが、6月に東京都町田市で団員の報酬が振り込まれる

通帳を新たに団が作らせ、キャッシュカードと暗証番号を預かり、団員の承諾なくお金を引き出し運営する内容の新聞報道があり、市が調査したところ全5分団のうち3分団が同様な管理を行っていたことが判明する事案があった。

このような事例を受け、市として改めて独自調査の実施を検討されたのか、団員の報酬についての不正流用の防止やチェックはどのように行っているのか伺う。

(3) 組織力強化について

① 総合振興計画後期基本計画に、消防団の現状を踏まえ災害対応能力の強化のため、装備品や資機材の充実が必要とあるが、具体的な充実について伺う。

② 組織を強化していくうえで団員の確保が最も重要であると考えます。

全国的に女性団員、学生消防団員の比率は上昇傾向にあり、積極的に確保に力を入れていくべきと考えますが市としての考えを伺う。